

第1回生駒市総合計画審議会 第一部会

第1回 生駒市総合計画審議会第一部会

1 日時 平成27年7月30日(木) 13:30～

2 場所 生駒市役所 4階 403・404会議室

3 出席者

(委員) 中川委員、森岡委員、永野委員

(事務局) 今井企画財政部長、西川企画政策課長、小澤企画政策課長補佐、
岡村企画政策課企画係長 松尾企画政策課係員

4 欠席者 中谷委員

5 議事内容

(1) 部会長選出

【事務局】 まず、議事に入る前に、部会長の選出をお願いします。部会長は、生駒市総合計画審議会条例第7条第3項の規定により、委員の互選で選出していただくことになっています。どなたか御意見をいただけますでしょうか。

【中川委員】 ありません。

【森岡委員】 ありません。

【永野委員】 ありません。

【事務局】 では、前回部会長に選出されました中川先生、いかがでしょうか。

【中川委員】 させていただきます。

【事務局】 ありがとうございます。

それでは、中川部会長の方から、一言、よろしく願いいたします。

【中川部会長】 昨年に引き続き、また引き受けることになりましたけれども、いつも申し上げているように初心に戻ってやろうと思っていますので、どうかよろしくをお願いします。

(2) 各分野の検証

①No.111 市民協働

【中川部会長】 委員の方から質問が出ておりますね。ですので、担当課からの回答票

をご確認ください。質問は、森岡委員から出ております。これをごらん
いただいて、進捗度について、この変更は特段ございませんか。

【森岡委員】 進捗度そのものに変更はありません。タウンミーティングを実施する
と周知しても、一般市民は3回実施したから3回とも参加するのではなくて、やはりその都度その都度の1回きりの参加だと思うんです。なので、その年度のタウンミーティングに対しての関心度が高いか低いかという部分で見れば、タウンミーティング動画の1回あたりの再生数は増加しているの、関心は高まっているのではないかな、という感じがします。

【中川部会長】 永野委員、いかがですか。永野さんも進捗度Cですね。

【永野委員】 はい、同じです。タウンミーティングをやられていますけども、成果
が上がっているのかどうか、常に疑問符があります。参加者人数は増加しているのでしょうか。

【事務局】 昨年度も2回開かせていただいているのですが、ごみ有料化関係のテ
ーマが1回、あと、北スポーツセンター関係で1回開催しました。平成
26年度はそれぞれ116人、142人が参加したということで、1回
につき100人を超える方が参加してくださいました。一昨年の平成2
5年は3回開いているのですが、少ないときで47人、多いときで99
人でしたので、一桁増えてはおります。

【永野委員】 多分、多くの方にとって興味がある内容だったからでしょうね。

【事務局】 そうですね。有料化とか、やはり非常に興味があるテーマだったから
かもしれません。

【永野委員】 これからも続けてほしいというのが希望でございます。進捗度はCで
同じです。

【中川部会長】 分かりました。

何かコメントはありますか。森岡さん、どうでしょう。

【森岡委員】 テーマを絞って開催したことや、参加者増減、アンケート実施等も含
めて、それらが妥当だったかどうか、分析をして次回につなげていくこ
とが必要であると思います。

【中川部会長】 進捗度を変更するわけではないので、コメントということになります

が、今出た意見を総じますと、タウンミーティングの開催は非常に有意ですが、テーマと参加者の数及び内容分析は今後とも怠らないようにしていただきたいということでしょうか。なので、動画の再生数だけ見ても、参加者動向などの本質が見えないのではないかと、という。開催回数が年3回とありますね。

【事務局】 色々な形で年3回開催した年もあれば、去年のように年2回だった年もあります。また、ティーミーティングという形でもう少し規模が小さいものを開催する等、様々な試行錯誤を行っています。先ほど永野委員がおっしゃっていたように、成果というものの定義づけが困難で、たくさん来られたから成果があるのかという点と難しいです。

【中川部会長】 それはなかなか難しいですね。

【事務局】 現在担当課でも、タウンミーティングにこだわらずに、タウンミーティング以外のものも踏まえて、より市民協働につながるような施策というのを考えていきたいとは思っております。

【中川部会長】 タウンミーティングは、市長主催タウンミーティングみたいなものですよね。

【事務局】 そうですね。

【中川部会長】 他にも色々な部局がやっているのではありませんでしたか。

【事務局】 例えば、環境、教育分野、危機管理など、タウンミーティングではなく出前講座という形で要請があれば開催しています。

【中川部会長】 ありがとうございます。それでは、審議会評価は進捗度Cということではよろしいでしょうか。

(異議なし)

②No.112 情報提供・情報公開

【中川部会長】 森岡さんの方から質問が出ております。森岡さん、いかがでしょう。

【森岡委員】 回答票に対し、「トップページへのアクセス数は減少したものの各ページへのアクセス数は増加している」と回答していただきました。しかし、本来これは検証シートの数値悪化理由の欄に記入していただくものではないかなと思います。なぜ減ったのかという理由が書かれていますが、

実態についても誰が読んでも分かるような書き方をしていただきたいなと思いました。

「生駒市全体として今どんなことをやっているんだろう」と興味を持って毎回ホームページを見ていただくというためにはトップページを訪問していただき興味深い記事を見つけていただくこと重要ですが、個別ページへの直接アクセスが増えるとそれができません。特定のページに直接アクセスしてしまう人たちに対し、日常から生駒市の全般の行政に対して関心を持っていただくために、どういうアクションを打つかが求められます。ホームページをぱっと見たときに、「この記事を読んでみよう」と訪問者に思わせるようなレイアウトが重要なのではないかと思います。そのような工夫があれば、アクセス数も自然と増加していくのではないかと感じます。

【中川部会長】 では永野さん、ご意見をどうぞ。

【永野委員】 パソコンを使えない人もいらっしゃいます。ですので、情報提供について色々と努力されていると思いますが、今後も、パソコンを使えない人に対しての情報提供も、またよろしくお願ひしたいと思ひます。

【中川部会長】 私も進捗度Cですが、ホームページへのアクセス数のカウントというのは、トップページから入らないとカウントできないという説明ですね。いきなりダイレクトに目的のページへ行った場合はカウントできないのでしょうか。

【事務局】 できないこともないのですが、何を1カウントとみなすかが複雑になってきます。あるページから別のページを訪問した場合カウントするというカウント方法があるので、一応カウントを行いやすいトップページのアクセス数で毎年毎年の推移を見るという形にしているのですが、正確性やどれだけの情報を得られているのかという面から見れば、トップページだけでは不十分であるとは思ひます。しかし、年間の推移を見るとなれば、この方法でやっているというのが実情です。

【中川部会長】 トップページ・個別ページ両方のアクセス数を出していいのではないのでしょうか。

【事務局】 個別ページのアクセス数カウントについて、ページを渡るとどのよう

にカウントするのかといった複雑な問題が発生します。

ページを渡るとカウントをどんどん増やしていくので、実際に訪問しているのは1人なのに同じ人を別の訪問者として何ページもダブルカウントしてしまうのです。ホームページのリニューアルを今検討していますので、その際は1人の訪問者をちゃんと正確に1カウントできるように今後なるようです。

【森岡委員】 やはり、色々な人にホームページを訪問してもらうにはトップページへのアクセスが重要であると思います。トップページのアクセス数が減っても目的ページを直接見ているからいいんだということにはならないでしょう。

【事務局】 今、生駒市公式サイト各ページには、「いいね！」ボタンのように読んだ方が「この情報はよかった」と気軽に示せるようなものはありません。そういったものをつけることによって、カウントだけではなく、ページの中身がどの程度役に立ったかを可視化するような指標も検討できればと思っています。

【中川部会長】 分かりました。そういう踏み込んだ工夫を加えるべき時期に来たということですね。だから、カウントの仕方の点検、改善、それから、そのページが役に立ったとかどうかといった意見をいただけるようにすればいいのではないのでしょうか。

ただ、進捗度の理由の説明があまり合理的でないと思います。ダイレクトで検索して目的ページに飛ぶ人が増えたというのはあくまで推測ですね。

それから、2つ目は、情報公開に対する制度などが定着したから満足度が下がったというのは、論理的に整合していない説明です。むしろこれは満足度というよりは信頼度なので、制度が定着したら上がるはずですね。本当はもう少し分析してほしいですね。

【森岡委員】 説明を読んでいて、やはりちょっとひっかかりますね。

【中川部会長】 ひっかかります。多くの市民が「ちゃんと生駒市の行政が隠し事なくやってくれているから、まあええんちゃう」という気持ちになっているというのであれば、落ちるのは関心度でしょう。

【永野委員】 確かに関心度は落ちて、満足度は上がります。

【中川部会長】 別に興味を持たんでも大丈夫、行政もちゃんとやっていると思っていたら、関心度は落ちますよね。分析の仕方、ロジックがちょっとジャンプしているので、中身をもう少し精査して要因分析してください。

審議会の評価はCで構いませんか。

(異議なし)

③No. 121 地域活動・市民活動

【中川部会長】 質問票はございませんでしたので、森岡委員、意見等をどうぞ。

【森岡委員】 特に意見はありません。

【中川部会長】 これも全員Cですよ。永野委員、いかがですか。

【永野委員】 「県政なら」の冊子を自治会で配付せねばならなくなるのではないかと聞いて、広報紙の配布だけでも大変なのに、このように仕事が増えて自治会負担が増えると、ますます自治会の脱会者が増えるのではないかと懸念しております。進捗度はCで構いませんが、あまり自治会の負担を増やしてほしくないと思います。

【中川部会長】 分かりました。それでは、審議会評価はCでよろしいですか。

(異議なし)

④No. 131 人権

【中川部会長】 森岡委員、ご意見等どうぞ。

【森岡委員】 質問票には書きませんでした。人権講座に参加したときに、不適切な講座がありました。出された問題に対して常識的な答えを書いたら、いや、実はこんな条件があるんですよと後から出して、後出しじゃんけんのような形の講習だったので、こういったやり方はやめてほしいと思うんです。内容が人権講座として適切なものでないなら、また参加しようという気がなくなるし、もう参加したくなくなります。

【中川部会長】 いわゆる人権研修というのは、僕は新たなステップに入っていると思うんですよ。今までのような在来型の受身の研修スタイルや内容から、より踏み込んだ、地域社会でともに生きる、そういうコミュニティベースの人間環境をより深く、よりよくしていくための視点というのがもつ

と必要になってきています。常日ごろのものごとの中から気づきが出るようなやわらかい研修の方がいいと思います。

【森岡委員】 私も、研修・講習の場の話とかも聞いたことがあるんですけど、それはそれとして、いずれにしても、あらかじめ講座内容をきちんと精査するなどして、不適切な進め方をするような講座はやめた方がいいのではないかと思います。

【中川部会長】 「こんな現実をあんたらは知らんやろ」とか「こういう差別の現実を知らんやろ」などと言ってバンとぶつけるような同和研修が一昔前はよくありましたよね。そのような研修でなくて、お互いに気づきがあるので「一緒にしよう」というところから始めないといけない。そういう点で、私は、研修レベル・技術にちょっと問題があったのではないかと思います。

審議会委員がそれぞれが判断した進捗度は3人がB、1人がCになっています。

【永野委員】 私です。

【中川部会長】 では森岡さんはどうですか。

【森岡委員】 私は評価は変わりません。

【永野委員】 人権講座は参加者が興味を持って参加しているのではなくて、役割で参加している人がきっと多いと思います。だから、そのあたりを踏まえてCにしております。

【中川部会長】 役割で参加する人がいてもいいんです。「役割だから行く」という理由でもちゃんと参加したことには変わりありません。うれしいから、行きたいから行くという人は、実際にはあまりいませんね。

【永野委員】 確かに、いませんね。

【中川部会長】 では、この分野の審議会評価は進捗度Bでよろしいですか。

(異議なし)

⑤No.132 男女共同参画

【中川部会長】 それでは、森岡さんからコメント等どうぞ。

【森岡委員】 男女共同参画について色々な講演会が行われているものの、意識の高

揚だけのような、そんな取組になっている傾向があると思います。男女共同参画は、日常生活レベルの取り組みがもっとあってしかるべきではないでしょうか。質問票にVivid You&Iについての意見を述べましたが、読んでいても興味が沸きにくいですし、あまり意味が分からない。そういう感じがするので、そのときも担当者の方に直接お話をしたのですけどね。「男女共同参画」という言葉が大きすぎて、大きな取組だけになっているような気がします。男女共同で参画すべきことは、もっと身近なレベルの中に色々とあると思いますし、それを運動として提起していくべきではないかと思いました。今後の課題としては、以上のような点が挙げられると思います。

【中川部会長】 永野さんはいかがですか。

【永野委員】 昨年までずっと行われていた講座が、今年はなくなってしまいました。今まで長年に渡って開催されていた講座は、「ほとんどの参加者がリピーターなので、もっと新しい人や若い人を入れたい・講座等に呼びたい」ということで今までの講座をやめた、というような噂を聞きました。講座には毎回50人から60人程が参加しており、それも1つの男女共同参画の啓発になっていたとのことですので、どうしてやめてしまったのか非常に不思議に感じます。現在、育メン等の子育て分野の方ばかりに力を入れられているような気がしますので、もう少し全体的な市民に目を向けた講座等を行ってほしいと思います。以上の理由で、進捗度Dにしました。

【中川部会長】 データ的に見ても、いい結果は出ていますけどね。

何度も件の講座に参加してくれた方々を排斥して新しい参加者・若い参加者を集めようとするのではなく、リピーター、つまり学習熱心な50人前後の方々と協働企画を行ったり、男女共同参画啓発のための様々な相談に乗ってもらったりする等、参画協働グループとしてリピーターを活用していくという案は出なかったのでしょうか。「何度も参加して下さったので、あなたたちはもう卒業です。勉強するよりもむしろ逆に先生役、教える側に回ってくださいませんか」というようなことがあってもいいのではないかと思います。

【森岡委員】 検証シートを見て思ったのは、男女共同参画は女性や若い人たちだけが対象のように思ってしまうなということです。Vivid You&Iを読んでも、やはり若い人だけが対象なのかと感じたので、中高年の人や高齢化の中で2人きりの夫婦にとっての男女共同参画の進め方があってもいいのではないかな、と思ったんです。そういった意味で、男女共同参画講座等が非常にマンネリ化しているのかもしれない。

【中川部会長】 分かりました。

それぞれ変化していく時代に有効な男女共同参画の啓発内容開発やプログラム開発に絶えず努めてもらいたいということだと思います。マンネリズムに陥る危険性がありますからね。

実は、男女共同参画基本法及び行動計画を国が行っています。地方自治体は、国の取組を踏襲せねばならないと思い込んでしまうので、国のミニ版になってしまうんですね。それよりも、生駒市の実情に応じた男女共同参画・行動計画のようなものがやはり望まれるのではないのでしょうか。政策と職務を照らし合わせるといふか、相互通信するような力点を打ち出してもいいと思います。例えば、自治会・町内会活動をコアとした小学校区単位の地域のまちづくりを運動として、これから生駒を興そうとしているわけですが、その中で男女共同参画は具体的にどう位置づいていくのか、等ですね。森岡委員が今おっしゃったような、高齢者の単独世帯というのが増えてきているでしょう。それ故、老老介護が始まっているのですが、「そのときに妻を介護せざるを得なくなった場合にあなたはどうするのですか」という話や、介護を行いながら食事・入浴・就寝の毎日を繰り返していたら、夫は疲れ果ててしまいます。だから、「今から生活自立の練習をしましょう。それが結構楽しいですよ」といったようなプログラムがあつていいと思います。洗濯も結構おもしろいとか、掃除には少々妥協の精神が必要だとか、様々なことがあると思います。

【森岡委員】 寿大学ではなく、このプログラムの一環として例えば男の人の料理教室といったような、平たい意味での男女共同参画の取組があつてもいいのではないだろうかという気がするのです。

【中川部会長】 男女共同参画は女性専門の政策ではないので、女性だけでなく男性も参加して得したり、色々なことを発見したり、おもしろいことを学習できる魅力ある取組開発に努めてもらいたいです。

自分が見ている限りでは、生駒市は最低水準を達成しているとは思いますが、手がた過ぎて生駒の特色がないなという感じですね。生駒の特色に合わせた政策を是非。

では、審議会の進捗度はCということによろしいですか。

(異議なし)

⑥No.133 多文化共生

【中川部会長】 森岡さんから質問票が出ています。「市民実感度の数値が低い。総合的な分析が必要」ということですね。

【森岡委員】 特に市民実感度が低く、「そう思う」と「どちらかというと思う」という比率が非常に低くなっています。他の分野と比べると特に低いというのが実態だと思います。

なぜ低いのかということについて、私が感じているのは、外国の方についてまだあまり知られていないということです。外国の方や友達の話を知っていると気づかされていることもあります。そういう意味で言えば、生駒にお住まいされている外国人市民の方の紹介を通して、異文化あるいは外国籍の方々の物の考え方というのを知ってもらう機会がもっとあればよいと思います。外国語教室・日本語教室をやりましょうということではなくて、外国人市民の方の生活実感や色々な思い等も含め、より一層広報してもらいたいなと思います。それによって異文化の共生が更に進んでいくのではないかな、という気がするんです。

そのような意味では、実感度も含めて今の取組は進んでいないのではないだろうかと思って、当分野の評価をDに下げました。

【中川部会長】 では、永野さん、いかがですか。

【永野委員】 特に意見はありません。

【中川部会長】 国際化ボランティアの登録者というのは、余り多くないのですね。生駒市ほどの人口でしたら、このような人数では少ないと思います。目指

す値は17人、実績値19人で、一応目標はクリアしていますが、この人数で、国際化ボランティアが足りるのだろうかという疑問は感じます。永野さんの評価はCですか。

【永野委員】 はい。

【中川部会長】 では、審議会の評価は進捗度Cでよろしいでしょうか。

(異議なし)

【中川部会長】 森岡さんが今おっしゃったように、生駒市に在住している外国人住民と生駒市市民の日本国籍住民との出会いの場、交流の場、そういうものをもっともっとたくさん開発してほしいですね。

⑦No. 141 行政経営

【中川部会長】 質問票はありませんので、森岡さんからコメントをお願いします。

【森岡委員】 すべき仕事に対してどういうことを行いどういう結果が出たか、というところから書かれているので、あれこれ指摘するところは何もありません。評価もそのままです。

【中川部会長】 それでは永野委員、コメントをどうぞ。

【永野委員】 森岡さんと全く同じです。

【中川部会長】 担当課が進捗度をDとしているなら変える必要もないように思いますが、けれども、行政は大変よく頑張っていると私は思います。前年の進捗度がBですし、いきなりDというのは非常に急降下ではないでしょうか。取り組んできた事柄に対し、それなりに苦勞も報われてきていると思いますよ。これらを踏まえて、審議会としての進捗度はCでいかがでしょうか。

(異議なし)

⑧No. 142 行政サービス

【中川部会長】 では、森岡さん、ご意見等をどうぞ。

【森岡委員】 特に意見はありません。書かれていることも妥当かなということで、意見もありませんし、評価は行政の進捗度と同様です。

【中川部会長】 では、永野さん、どうぞ。

【永野委員】 私も同じく評価はBなのですが、少し意見を。指定管理者施設などが増えて、高齢者が安心して使用できる場所・集える場所が少なくなっていることが気になっています。あと、市役所の各課に行ったときに「このような用件で来ました」と言ったら担当の方が出てきて下さるのですが、まず始めに「すみません」と声をかけた際に、皆さん一斉にこちらを見られます。ありがたいですし、気にかけていただいていることが分かるのですが、思わず後ずさりしてしまいます。

【中川部会長】 でも、返事をしないよりはいいでしょう。

【永野委員】 それはそうなんですけどね。皆さんで一斉に見られたら、「いや、どうしよう」と一瞬思ってしまうのです。身構えてはしまうものの、よく行かせていただく高齢施策課の方では、どなたに言ってもきちんと対応していただけるので、それはすごく助かっています。

【中川部会長】 それは、多分、接遇研修が徹底したからでしょうね。窓口に来た人が「すみません」と声を出しているのに知らないふりをしてはいけない、といったような。

【永野委員】 それはありがたいと思っているのですけどね。かといって、受付を作るのもまた何か変な話ですしね。市民が慣れたらいいのでしょうか。

【中川部会長】 慣れたらいいのではないのでしょうか。

【永野委員】 頑張っって慣れます。

【中川部会長】 銀行に行ったときなど、窓口ですみません等色々言っているのに奥の方で知らん顔をしています。それに比べたら、市役所各課の窓口ははるかに人間的だと思います。

【永野委員】 対応がかなりよくなっていたので、本当に助かっています。

【中川部会長】 では審議会の評価は進捗度Bでよろしいでしょうか。

(異議なし)

【中川部会長】 よく頑張っっていらっしやると思います。コンビニ交付の導入なんかも、結構人気を博していますよね。全自治体がコンビニ交付を導入しているというわけではありませんよね。

【事務局】 はい、違います。生駒市の場合は、住基カードがあれば他市町村のコ

コンビニでも住民票が発行できます。現在は住基カードですが、今後はマイナンバーカードになる、という可能性もあります。

【中川部会長】 ということは、北は稚内から南は沖縄まで、どこへ行っても、コンビニで住民票が取れるといったわけですね。

【永野委員】 マイナンバーが交付された場合は、住基カードはどうなるのでしょうか。

【事務局】 新しくマイナンバーの写真つきカードを作成し、希望される方には、住基カードと交換でお渡しします。それを希望されない方は、住基カードの有効期限までですが住基カードでコンビニ交付を行うことができます。

【永野委員】 分かりました。ありがとうございます。

【中川部会長】 それでは、以上で第1回第一部会を終了します。

— 了 —